



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	被災箇所の早期復旧	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-4-1)目標達成のために重要な施策となっている				
活動指標	指標	a		b		c		d	
	数値	目標		目標		目標		目標	

## 3. 実績（上段・実績/下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
被災箇所の早期復旧		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a		—	—	—
		—	—	—
b		—	—	—
		—	—	—
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

## 4. 課題と対応

課題
事業申請時に確約書の提出を徹底しているが、事業完了後の分担金の未納が発生している。
対応（改善点等）
未納者に対して、督促状の送付及び完納を徹底させる。

## 5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

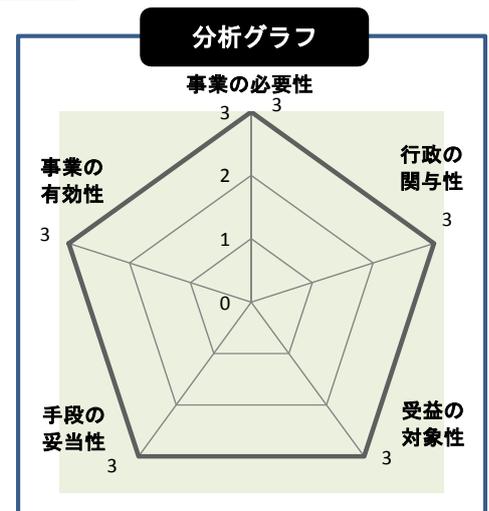
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
		28,815	220,029	351,437	294,225
うち経常経費					1,485
財源内訳	国費				
	県費	5,959	121,743	303,348	218,701
	市債		9,700	12,400	18,300
	その他	392	9,399	23,671	26,950
	一般財源	22,464	79,187	12,018	30,274
うち経常					1,485
事業費に係る人件費		6,450	6,870	14,384	15,303
事業費に係る人役		1.50	1.60	3.30	3.45

## 6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
異常気象時の降雨等により発生する、農地農業用施設の災害復旧事業に対応するため。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 農業生産基盤の早期復旧を図る必要があるため。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 受益者全額負担での普及は困難であるため。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 対象者が農地所有者及び耕作者である。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 早期復旧のための適切な対応策である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 災害査定が年末となったため、工事の発注時期が遅くなったが、作付け時期の完成にむけ取組んだ。



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	未収金の回収を早期に図ること。